

1 べし

基本形	べし	
活用の型	形容詞型	
未然形	べく	べから
連用形	べく	べかり
終止形	べし	
連体形	べき	べかる
已然形	べけれ	
命令形	○	

【解答】 (1)、(2)は左の活用表を参照。

(3) **寝てしまっているだろう**

<古文> 人はみな寝たるべし
 <現代文> 人はみな寝てしまっているだろう

【主な意味と用法】

- ・ 推量
「～だろう」
人はみな寝たるべし
(人はみな寝てしまっているだろう)
- ・ 意志
「～しよう」
みづから一具は書くべし
(自分でも一そろえは書こう)
- ・ 可能
「～できる」
心を悩ますことは、あげて数ふべからず
(心を悩ませることは、数えることはできない)
- ・ 適当
「～するのがよい」
家の作りやうは、夏をむねとすべし
(家の作り方は、夏を中心とするのがよい)
- ・ 当然
「～のはずだ」
必ず来べき人のもとに車をやりて待つに
(必ず来るはずの人のもとに牛車をやって待っていると)

2 まじ

基本形	まじ	
活用の型	形容詞型	
未然形	まじく	まじから
連用形	まじく	まじかり
終止形	まじ	
連体形	まじき	まじかる
已然形	まじけれ	
命令形	○	

【解答】 (4)、(5)は左の活用表を参照。

(6) **ないだろう**

<古文> 人の御恨みもあるまじ
 <現代文> 人の恨みもないだろう

【主な意味と用法】

- ・ 打消推量
「～しないだろう」
人の御恨みもあるまじ
(人の恨みもないだろう)
- ・ 打消意志
「～しないつもりだ」
ただ今は見るまじ
(今は見ないつもりだ)
- ・ 不可能
「～できそうにない」
たはやすく人寄り来まじき家をつくりて
(簡単に人が寄って来れそうもない家を作って)
- ・ 不適当
「～しないのがよい」
妻といふものこそ、男の持つまじきものなれ
(妻というものこそ、男は持たないのがよいものだ)
- ・ 禁止
「～してはならない」
人にも漏らさせ給ふまじ
(他人に漏らしなさらずはいいけない)



【アプリ版のご紹介】古文・漢文

古文・漢文を学習中の中学生、高校生必見！定期試験とセンター試験に頻出の「古文単語」「古典文法」「漢文」を、完全に無料で学べるアプリが登場！！



【オマケの一題】

中学社会 地理・歴史・公民

本会議を開くために必要な議員数は、総議員の何分の何以上？
 (A) 4分の1 (B) 3分の1 (C) 2分の1 (D) 3分の2